

適切な食餌を与えるために：体重管理を成功させるためのヒント

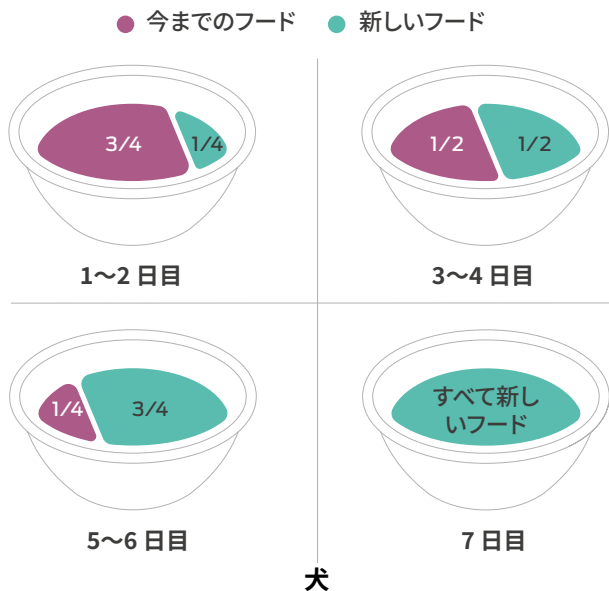


私たちの目標は、ペットを理想的なボディコンディションに戻し、健康に長生きできるようサポートすることです。ペットの体重を落とす一方で、必要な必須栄養素を確実に摂取できるようにするために、次に示す治療用減量食または体重管理食に切り替えることをお勧めします。おやつを与える場合は、ペットの1日のカロリー摂取量の10%を越えないようにします。ペットのお気に入りのおやつのカロリー数がわからない場合は、お問い合わせください。

体重管理プログラムのガイドラインとヒント

ペットの体重を効果的に落とすには、次のガイドラインに従うことが重要です。

- 胃の不調のリスクを最小限に抑えるため、新しいフードに切り替えるときは7日間かけて徐々に移行させてください。犬と猫については、以下の移行スケジュールを参照してください。犬の場合は、2種類のフードをひとつのボウルに混ぜて与えることができます。猫の場合は、2つのボウルを使用し、一方に新しいフード、もう一方に現在使用しているフードを並べて与えることをお勧めします。



- 移行後は、新しいフードのみを与え、以下に推奨される場合にのみおやつを与えます。
- その他の食品へのアクセスを管理：
 - 他のペットのフードを食べてしまうペットの場合、給餌中はペット同士を隔離することを検討してください。
 - 子どもが食事中に落とした食物を食べる傾向があるペットの場合、食事中はペットを別の部屋に隔離することを検討してください。
 - ペットが食べ物を欲しがるのは学習による行動であり、必ずしも空腹であるためとは限りません。食べ物の要求への対処法や、健康的かつ低カロリーのおやつとしてどのようなものがあるかについては、お問い合わせください。
 - ペットの新しい給餌計画について、家族、友人、近所の人に伝えておく必要があります。

体重管理プログラムのガイドラインとヒント（続き）

- 運動や遊びを増やすと、ペットの減量に役立つことがあります。
- 日誌を使用して、次の来院までの間のペットのボディコンディション（自宅で体重を測定している場合は体重も）の記録を付けます。
この情報は、体重管理プログラムの有効性を評価するのに役立ちます。ペットの反応に基づいて、体重管理計画を調整する必要があるかもしれません。
- ペットのボディコンディションを評価する方法を実演しましょう。**犬**や**猫**の評価を行う方法に関するビデオを視聴することもできます。
- ご連絡ください、もし：
 - 気が変わったので、異なる食べ物やおやつを与えたいと思います。
 - ペットが新しいフードを嫌がります。
 - ペットが嘔吐や下痢をしています。

体重管理プログラムは難しい場合があります。体重の減り方が遅いと、体重が減っていることに気づくまでに時間がかかることがあります。ペットはそれぞれ異なりますし、与えるフードの量は毎回のペットの要求に応じて増減する場合があります。そのため、私たちが継続的な関わりを維持することで、ペットのより健康的な体重を目指すためのチームワークにつながります。

この過程全体を通して、私たちはあなたとあなたのペットをサポートしていきます。ご質問やご不明な点がございましたら、定期測定の間であってもお問い合わせください。

クリニック名：_____

連絡先情報：_____

推奨事項： _____（ペットの名前）

フードのブランド名および組成：_____

給餌量：_____（1 つ選択してください） グラム オンス

1 日あたりの給餌回数：_____

はかりを使って、ペットフードの重量を測定します。キッチンスケールがない場合は、250 mL（8 オンス）のカップに適切な量のフードを入れて慎重に計量します。

給餌方法： ボウル スローフィーダーボウル 自動フィーダー パズルフィーダー

おやつの名前：_____ 1 日あたりのおやつ回数：_____

代わりに、1 日に与えるドライフードのうち _____ グラムまたは _____ オンス/カップを取り分けておやつとして与える、または _____ をおやつとして与えることをお勧めする場合があります。

運動の種類：_____ 運動の時間：_____

1 日/週あたりの回数：_____

体重の定期測定：体重測定のための来院の頻度：_____

猫や小型犬の場合、クリニックでの定期測定の間には体重計を使用して自宅で体重を測定する頻度：_____

ボディコンディション：測定頻度：_____